

# 緊急課題



# 超高齢化を

# どう乗り切るか

## 新しいケアシステムに向けて、眠っている人資源の活用が急務

講師 日本医療大学看護学科教授 <sup>はやし みえこ</sup> 林 美枝子 氏

現在私たちは、2025年問題を抱えています。

これは団塊世代がすべて75歳を迎えることで、日本の高齢者医療費、介護費が高騰すると予想されていることです。国はこれ以上の高齢者医療・介護資源の消費には耐えられないとし、これまでの病院完結型社会から、住み慣れた我が家や地域で療養や終末期を迎える地域完結型社会づくりに舵を切りました。

あなたの身近には、高齢者の療養や看取りを支える地域資源や住民の絆、あるいは覚悟はありますか。

医療や身体介護は専門家に任せられても、日常生活の支援やスピリチュアル・ケア（生きる意義や死生観などの解決できない問題への介護）は誰が担い、その人材をどう育成していくのか…一緒に考えてみませんか？

と き：令和元年 **9月20日** (金) **19:00~20:30** (開場18:30)

と ころ：と かつ プラザ視聴覚室 (帯広市西4条南13丁目1)

定員 **100名** (無料)

〈主催〉帯広市 〈後援〉一般社団法人北海道中小企業家同友会 と かつ 支部